



なかよし塩川

令和6年11月8日

第9号

文責：教頭（阿部）

全校マラソンで日本縦断 マラソン大会

10月30日（水）に予定されていたマラソン大会は早朝まで降り続いた雨のため延期となり、翌31日（木）に行われました。心待ちにしていた子どもにとって一日お預けとなりましたが、子どもたちは本番当日、すばらしい秋晴れの中、元気いっぱいにそれぞれのコースを駆け抜けました。多くの保護者の皆様、地域の皆様に心温まる声援をたくさんかけていただきました。PTAの役員の皆様には、コースのポイントに立ち安全誘導をしていただきました。ありがとうございました。

今年度はマラソン旬間として練習を行いました。昨年度までと変わり練習期間が短くなったので、全校で「日本縦断 3368km マラソンチャレンジ」を目指しました。結果は4476.6kmでマラソン大会前にゴールの鹿児島県 佐多岬に到達し、折り返してさらに北へ戻り、塩川小学校手前まで到達することができました。今年度も、朝から張り切って走る子どもたちがとても多く、一人ひとりが自分の目標を目指して、汗を輝かせる姿が印象的でした。

○マラソンチャレンジ 10月16日～10月30日（11日間）

校庭小トラック1周100m、校庭大トラック1周200mとして計算しています



○マラソン大会 1年生 校地の周り 1周

0.7km 2年生 2周 1.4km

3~6年生 1.5km か

3kmを個人で選択して走りました



11月は「なかよし月間」です

11月はなかよし月間です。目標は「みんなえがお」です。相談週間も5日からスタートし、各クラスで担任と児童との個別相談の時間が設けられました。担任とそれぞれの子どもが1対1で話すことのできる貴重な時間です。また、それぞれの学級で人権同和教育や道徳の学習を通して、仲間と共に思いを共有しながら、一人ひとりが差別やいじめを本気で考え、みんなちがってみんないい塩川小を目指していきたいと思います。

11月22日は人権参観日です。今年度は、人権参観日の開校150周年PTA人権講演会で、落語家 立川談慶先生から「落語でなかよしこよし」という演題でお話しいただきます。談慶先生は、丸子出身の落語家で立川談志さんの18番目の弟子として入門され、慶應大学初の真打に昇進された方です。落語だけでなく、大学の教員や非常勤講師をされたり、映画やテレビに出演されたりと多岐にわたって活躍されています。全校児童でお話を聞きますが、それぞれの子どもたちが、自分や友だちの良さを再認識する貴重な時間にしてほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様もぜひ講演と落語をお聞きください。講演会は体育館が会場となります。14時開場、14:25~15:25講演となります。駐車場は校庭となりますが、駐車場がいっぱいになることが予想されます。その際は誘導に従って駐車をお願いします。出来るだけ徒歩や自転車の利用を検討されたり、乗り合わせてご来校いただけるとありがたいです。

金管バンドの塩川敬老園訪問について

11月1日の放課後、金管バンドで塩川敬老園を訪問しました。敬老園では多くの皆さんのが心待ちにしてくれていました。金管バンドのメンバーは、これまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮し、堂々と演奏をしました。曲目は、これまで練習をしてきた「塩川小学校校歌・ドレミの歌・ピクニック～やってみよう～・四季折々」です。演奏が始まると、体を揺らしたり、手拍子をしたりして楽しまれている方が増え、子どもたちも気持ちよさそうに演奏していました。

この敬老園での訪問演奏会をもって、6年生は引退となります。音楽会、交歓演奏会等多くの場で演奏を披露し活躍してくれました。これから引継ぎとなっていきますが、多くの新入部員が入部して、演奏を引き継いでいってほしいです。

避難訓練と防災体験について

同日11月1日に避難訓練がありました。今回は、子どもたちに予告をせず、休み時間に行いました。火元は家庭科室となり、避難経路の変更が場所によって必要になるというものでした。子どもたちは、放送を聞いて、素早く移動できていました。事前学習で「おはしも」や火元に近づかない避難をすることを確認していましたので、意識して動いている児童が多くいたように思います。校長から身近なところで火事は起きている。火事や地震、洪水などの災害は予告なしにやってくる。もしもの時は①情報を正しくキャッチしよう。②自分で考えて安全に行動しよう。との話がありました。

4年生はこの日、防災体験を行いました。上田市の危機管理防災課と丸子地域赤十字奉仕団の方から防災についてお話をいただいたり、コミュニティスクールの皆さんを代表して塩川おはなしの会の方から災害が起きたときに気をつけることの紙芝居を読んでいただいたりしました。地域の防災の中心となっている方々もご参加いただきました。この日は、実際に塩川小プール横にある防災倉庫を見学したり、段ボールベットや簡易トイレ、炊き出しを体験したり、防災グッズを紹介していただいたりしました。地域の方々と貴重な体験学習ができました。防災課の方からお話しいただいた「自分の身は自分で守る」ことを大切にして、各家庭で防災意識を高めていってほしいと思います。

令和6年度の全国学力・学習状況調査の結果 ならびにNRT・CRTテストの結果の考察

4月に6年を対象とした「全国学力・学習状況調査」が実施され、調査結果が公表されました。本校では、調査結果をもとに振り返りを行うとともに、他学年で行ったNRTテストからの結果と共に分析を行い、系統立てた指導に結び付くようにしていきます。今後も、学校と家庭が連携して、確かな学力を育てていけますようご支援ご協力をお願い致します。

各学力調査の結果から

全国学力・学習状況調査【6年生】

- ・全国正答率に対して、ほとんどの項目で、上下5%未満に収まっており、国語及び算数の全体結果は、概ね全国比並み、あるいはやや上回っていると捉えることができます。
- ・国語については、条件を踏まえて書いたり、読み取ったりすることに課題がありました。条件を踏まえて表現することが必要となる文脈を単元デザインに取り入れることで、児童が自然と条件を意識した表現を目指す授業づくりを行っていきます。
- ・算数の文章問題については、関係図などを用いて思考の過程を可視化することを大切にするように指導したり、それを共有して説明し合う学習活動を多く取り入れたりしていきます。

標準学力検査（NRT）【4・5年生 国語・算数】

- ・5年生は、全国比並み、あるいは全国比を上回る結果となりました。この要因としては、基礎や基本の定着を目的とした「チャレンジタイム」や「全校ドリル」等の時間を全校体制で行っていることや、知識や技能の活用を図る学習活動が授業の中で着実に取り入れられていることがあると考えられます。
- ・4年生は、国語算数ともに全国比を下回る結果となりました。ですが算数については昨年度のCRTの結果と比較すると、上昇傾向が見られます。したがって、5年生同様に、全校体制で行っていることや授業改善の方向性を継続して行っていきます。また、検査において問題を最後まで解けない児童が多く見られました。より適正な結果が得られるように、時間情報や検査の進め方等について確認をしていきたいと思います。

知識や技能を習得する場面においても、思考・判断・表現をする場面においても、主体的に学習活動に取り組む児童の姿が見られるようになってきています。学校では、このような姿をもとに、さらなる授業改善をめざしていきたいと考えます。各ご家庭におきましても、お子さんの家庭学習等への取り組みを見守っていただき、基本的な生活習慣を大切にした生活をおくることができますようご配慮いただきたいと思います。